

安全データ シート

Safety Data Sheet

整理番号

C 0 0 1 - A

作成日 1994 年 2 月 11 日

改定日 2018 年 7 月 2 日

〈製品名〉 A S バレルメディア A S - A Z C

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : 不飽和ポリエステル、ケイ酸ジルコニウムを主成分とする化合物

推奨用途及び使用上の制限 : バレル研磨用研磨石

会社名 : 有限会社 秋山産業
 住所 : 大阪府寝屋川市小路北町 7 番 2 9 号
 担当部署 :
 電話番号 : 072-822-6936
 FAX番号 : 072-822-6932

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 ケイ酸ジルコニウムに関してデータが不足しているため、GHS 分類できない。又、現時点で、物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は「分類対象外」, 「分類できない」又は、「区分外」である。本製品の成分、ラベルに付いての分類を記載する。

物理化学的危険性	(スチレン)
火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 区分外
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性 (経口)	: 区分5
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	: 分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 区分4
急性毒性 (吸入: 粉塵)	: 分類対象外
急性毒性 (吸入: ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2A
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分2
発癌性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	: 区分1 (中枢神経系)
	: 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	: 区分1 (呼吸器、神経系、血液系、肝臓)
吸引性呼吸器有害性	: 区分1
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	: 区分2
水生環境慢性有害性	: 区分外

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語	： 危険
危険有害性情報	： 飲み込むと有害の恐れ（経口） ： 吸入すると有害（蒸気） ： 皮膚刺激 ： 強い眼刺激 ： 遺伝性疾患の恐れ ： 発癌の恐れ ： 生殖能又は胎児への悪影響の恐れ ： 中枢神経系の障害 ： 呼吸器への刺激の恐れ ： 長期又は反復暴露による呼吸器系、神経系、血液系、肝臓の障害 ： 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険の恐れ ： 水生生物に毒性
注意書き	
安全対策	： すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 ： 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。 ： 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 ： 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 ： ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 ： 取扱い後はよく手を洗うこと。 ： 環境への放出を避けること。
応急処置	
火災の場合	： 適切な消火方法をとること。
飲み込んだ場合	： 飲み込んだ場合、のどに詰まらせていないことを確認し、水でよく口の中を洗浄し、必要であれば、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	： 粉塵や割れた欠片が目に入った場合、目を擦らずに直ちに多量の清潔な水で洗い流す。その後まだ目に異物感があれば、目が傷ついた可能性があるため医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	： 石鹸を用い、水もしくは温水でよく洗い落とす。
気分が悪い時や暴露又はその懸念がある場合	： 直ちに医師に連絡すること。
貯蔵保管	： 容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
廃棄	： この物質及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、産業廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名	ケイ酸ジルコニウム	スチレン
化学名	$ZrSiO_4$	C_8H_8
含有量	57.5～68.5 %	1.0 %未満
CAS番号	10101-52-7	100-42-5

4. 応急措置

飲み込んだ場合	： のどに詰まらせていないことを確認し、水でよく口の中を洗浄し、必要であれば、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	： 粉塵や割れた欠片が目に入った場合、目を擦らずに直ちに多量の清潔な水で洗い流す。その後まだ目に異物感があれば、目が傷ついた可能性があるため医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	： 石鹸を用い、水もしくは温水でよく洗い落とす。
応急措置をする者の保護	： 特になし。
医師に対する特別な注意事項	： 医師の手当てを受ける時は、本SDSを提示する等、本製品に関する情報を医師に提供する。

5. 火災時の措置

- 消火器 : 粉末消火剤、噴霧水、散水、炭酸ガス、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の消化方法 : 初期の火災には、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂を用いる。大規模火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
- 消火を行う者の保護 : 消化作業の際は、必ず保護メガネ、有機ガス用防毒マスク、又は送気マスク等の保護具を着用し、消化活動は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項
(保護具及び緊急時措置) : 通常の取扱では特になし。ただし、床面に飛散したメディアを踏むと滑って転倒する可能性があるので注意する。
- 環境に対する注意事項 : 環境中(下水、排水溝、地下)への流出を防止する。
- 除去方法 : 破損したものをかき集め、空容器に回収する。その際、粉塵が発生するようであれば十分換気を行い、保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意
- 技術的対策 : 保護具(保護メガネ、保護手袋、保護マスク)を着用する。
- 局所排気／全体換気 : 通気性の良い場所で作業する。
- 注意事項 : 特になし。
- 安全取扱い注意事項 : 特になし。
- 保管上の注意
- 保管条件 : 火気を近づけない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 作業環境評価基準 20ppm (スチレン)
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会(2005年版) 20ppm 85 mg/m³ 皮膚;2B (スチレン)
- : ACGIH(2005年版) TLV-TWA 20ppm ;A4 (スチレン)
- : TLV-STEL 40ppm (スチレン)
- 設備対策 : 局所排気装置、手洗い、洗顔設備の設置。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 簡易防塵マスク、有機マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 側板付き普通眼鏡型保護眼鏡
- 皮膚及び身体への保護具 : 保護服、保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 円錐形
- 色 : 灰白色
- 臭い : 微臭
- PH : データなし。
- 融点／凝固点 : データなし。
- 沸点／沸点 : データなし。
- 引火点 : データなし。
- 充填密度 : 1.1～1.5
- 溶解性 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 一般的な保存状態で、安定であり反応性はない。
- 危険有害反応性可能性 : なし
- 避けるべき条件 : なし
- 混触危険物質 : なし
- 危険有害な分解生成物 : なし

1 1. 有害性情報

急性毒性 経口	: ラットの経口投与試験のLD ₅₀ =5000mg/kg (CEIR・NITE有害性情報No. 52, 2004)に基づき区分5とした。(スレソ)
吸入(蒸気)	: CEIR・NITE有害性情報No. 52, 2004記載のラットの吸入(蒸気)LD ₅₀ =11.7mg/L (4時間値)及びLD ₅₀ =11.9mg/L(4時間)に基づき区分4とした。(スレソ)
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギを用いた皮膚刺激性の試験の結果「中等度の刺激性を有する」としている(CEIR・NITE有害性情報No. 52, 2004)に基づき区分2とした。(スレソ)
眼に対する重篤な損傷	: (CERI・NITE有害性評価書No. 52, 2004)のト疫学事例及びウサギを用いた眼刺激性試験の結果、「中等度の刺激(7日間持続)」から判断するに基づき区分2Aとした。(スレソ)
呼吸器感作性	: 現在のところ情報なし
皮膚感作性	: 現在のところ情報なし
生殖細胞変異原性	: 体細胞 in vivo 変異原性試験(染色体異常試験、小核試験)で陽性の報告があり(ACGIH, 2001)(CEIR・NITE有害性情報No. 52, 2004)、生殖細胞 in vivo 経世代変異原性試験、生殖細胞 in vivo 遺伝毒性試験の報告はなかった。以上ことから、遺伝性疾患の恐れがあるため区分2とした。(スレソ)
発癌性	: IARCでトに対して発癌性を示す可能性があることから区分2とした。(スレソ)
生殖毒性	: (CERI・NITE有害性評価書No. 52, 2004)の記述から、ラットの三世代繁殖試験において、F0に影響のない用量で、F1、F2に新生児期生存率低下がみられていること、さらに、ラットの発生毒性試験及び授乳期投与試験で母性毒性のみられない用量で児動物に大脳セロトニンの減少、立ち直り反射及び聴覚反射の遅延など多くの行動的検査に異常が見られることから区分1Bとした。(スレソ)
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	: トについて、「眼、鼻に対する刺激性、中枢神経系に対する影響」がみられる(CERIハザードデータ集 94-96, 1998)の記述に基づき、区分1(中枢神経系)、区分3(気道刺激性)とした。(スレソ)
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	: トについて、スチレンは、眼、皮膚、鼻、咽喉に刺激性を示し、呼吸器への影響として閉塞性肺障害、慢性気管支炎等を引き起こす。また、めまい、頭痛、疲労感、錯乱、不眠などの中枢神経系への作用、反応時間、言語性記憶の低下などの精神神経機能への影響、視覚・聴覚への影響、リンパ球数増加、血小板数の減少などの血液系への影響、AST、GGT、ALT 活性上昇などの肝臓への影響もみられている。実験動物では、「鼻腔粘膜、気管粘膜の上皮細胞空胞化及び細胞の剥脱、核濃縮」、「尾部末梢神経伝達速度SCV(sensory nerve conduction velocity)の低値」、「肝細胞壊死」等の記載がある。(CEIR・NITE有害性情報No. 52, 2004) 以上のことから、長期又は反復暴露による呼吸器、神経系、血液系、肝臓の障害があるため区分1(呼吸器、神経系、血液系、肝臓)とした。(スレソ)
吸引性呼吸器有害性	: 炭化水素であり、動粘性率は0.772mm ² /s (25℃)(CERI計算値)であり、飲み込み、気道に侵入すると生命に危険の恐れから区分1とした。(スレソ)

1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: 魚類(ファットヘッド・ミノ)の96時間LC ₅₀ =4.02mg/L(CERI・NITE有害性評価書No. 52, 2004)の記述から、水生生物に毒性があり区分2とした。(スレソ)
水生環境慢性有害性	: BODによる分解度: 106% (既存化学物質安全性点検データ) 急速分解性あり。log kow = 2.95(PHYSPROP Database) 生物蓄積性が低いと推定される。(スレソ)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物処理法に従った処理をする。
-------	----------------------

1 4. 輸送上の注意

国連分類	: 国連の定義による危険物に該当しない。
国連番号	: 国連の定義による危険物に該当しない。
特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。容器が転倒、落下、破損が無いように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

化学物質排出把握促進法 (PRTR法)	: 該当しない
毒劇物取締法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 法第57条、施行令第18条別表第9、表示・通知義務対象物質 (ケイ酸ジルコニウム・スチレン)
じん肺法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない

1 6. その他の情報

この安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により、予告なく改定されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、特殊な取扱いをされる場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。また、記載内容については十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
